

工事説明書

フルオート（全自動）

ヒートポンプ給湯機（家庭用）

■高圧力型

屋外用

品番 HE-UA60AQP



*工事される方へのお願い

この工事説明書は、工事作業者が正しく、安全な工事をするために必要な手引書です。工事開始前に必ずお読みください。本書の記載事項に従って工事をされなかったことが原因で生じた故障・事故などは、保証の対象にはなりませんので、ご注意ください。設置工事後、この工事説明書は取扱説明書と一緒に、お客様にお渡しください。

このヒートポンプ給湯機は電力会社により、通電制御型としての料金割引が適用されます。電力契約をしている電力会社に、電力契約の申請手続きを行ってください。

も く じ ページ

安全上のご注意	2
1 施工される方へ	3
2 関係寸法図	4
3 据付け工事	5
4 配管工事	7
5 ふろ配管工事	10
6 特殊配管工事	15
7 保温工事・凍結予防工事	16
8 電気工事	18
9 リモコン工事	20
10 確認・試運転	21

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



■アース工事（D種接地工事）を行う
工事は「電気工事に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が行う
（故障や漏電のときに感電の原因になります）



■上水道直結の配管工事は、当該水道局（水道事業管理者）の認定水道事業者が指定された配管材料を使用して施工する
（事故、故障の原因になります）

■専用のブレーカーを単独で使う
（他の機器と併用したとき、発熱による火災の原因になります）

■電源電線は確実に取り付ける
（発熱して火災の原因になります）

■試運転時に漏電しゃ断器の作動を確認する
（万一の不作為で、故障や感電の原因になります）

■重量に十分耐えられる所に据え付ける
（転倒により事故の原因になります）

■工事は必ず指定の部品を使い、工事説明書に従って確実に行う
（火災や感電、水漏れの原因になります）



■ガス類容器や引火物の近くに据え付けない
（本体のスパークによる発火の原因になります）

■屋内に設置しない
（冷媒が漏れたとき、酸素不足のおそれがあります）

■ベランダ手すり近くに設置しない
（お子様が上り、手すりを越えるなどして落下のおそれがあります）



注意



■脚はアンカーボルトで、天部は固定金具で固定する
（地震などによって転倒してけがをするおそれがあります）

■壁面へのネジ固定は、ネジが壁中のラス網と電氣的に絶縁した状態で行う
（ネジとラス網との接触部過熱により、火災の原因になります）

■ドレン工事は工事説明書に従って確実に行う
（周囲が浸水し、家財などをぬらす原因になります）

■間接排水工事をする
（タンクの破損による水漏れの原因、また汚水が逆流してタンクに入ると水質の変化により健康を害するおそれがあります）

■凍結予防をする
（配管が破損して、やけどや水漏れの原因になります）



■防水・排水処理をしていない床面に設置しない
（屋内、階下などに浸水し、家財などをぬらす原因になります）

■吹出口やアルミフィンにさわらない
（けがの原因になります）

1 施工される方へ（施工上の注意、標準部材）

- このヒートポンプ給湯機は、別販品のコミュニケーションリモコン（品番：HE-AQFAWP）が必要です。
- ガス機器から電気機器へ変更をする際（ガス給湯機から電気温水器やエコキュートへの取替など）は、事前にガス事業所への連絡が必要になります。ガス事業者への連絡をせずに無断撤去することは法令により規制されておりますのでご注意ください。

1. 電気工事上の注意

- 電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの工事説明書に従って指定工事業者が工事を行ってください。
- 電源は節電機に接続しないでください。機器故障の原因となります。
- リモコンから本体までの配線は、リモコンケーブルと電源電線を5 cm以上離して行ってください。
本体内の配線は、リモコンケーブルと電源電線を束ねないで行ってください。通話中、異音発生の原因になります。

2. 配管工事上の注意

- 配管工事は、必ず所轄水道局（水道事業管理者）の認定水道工事業者に依頼し、指定された配管材料を使用してください。
- 水は必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水をご使用ください。
- 井戸水は使用しないでください。また塩分、石灰分、その他不純物が使用水に多く含まれていたり、酸性水質の地域ではヒートポンプ給湯機の使用をおさげください。熱交換器にスケールが付着し、短期間でお湯が沸かなくなります。
- ソーラー（太陽熱温水）システムには接続しないでください。高温水で機器故障の原因となります。
- 配管は接続するまで先端を保護し、異物が入らないようにしてください。

3. 同梱付属品 次の部品が付属されています。

- 取扱説明書 ●工事説明書 ●サービス説明書（前板裏面貼り付け） ●保証書 ●ドレンエルボ

4. 標準部材（工事は専用別売部材をご使用ください） ●＝必要部材 ○＝条件により準備（選択部材）

■設置工事部材

（5、6ページ）

- 脚部化粧カバー（4方向）
- カサ上げ金具セット
- 耐震固定金具セット（選択）

■給水・給湯・排水配管部材

（8、9ページ）

- 給水側止水栓（給水元栓）
- 給水・給湯配管
- 排水エルボ

■ふろ配管部材

（10～14ページ）

【ふろ配管共通】

- 厚肉浴槽用ふろアダプター交換部品セット（選択）
- 配管化粧板（選択）
- 漏れ検査治具

【銅管配管】

銅管配管5 m以下の場合

- 無極性ふろ接続アダプター（選択）
- 被覆銅管（選択）
- ふろ接続継手セットφ12.7銅管用

銅管配管15 m以下の場合

- 無極性ふろ接続アダプター（選択）
- 被覆銅管
- ふろ接続継手セットφ15.88銅管用

【樹脂管配管】

- 無極性ふろ接続アダプター（選択）
- 断熱材付架橋PE管13A（選択）
- ふろ接続継手セット13A架橋PE管用

【ユニットバス配管】

- ユニットバス取付金具（選択）
- フレキ管（15A）
- タケノコ継手セット13A用

■特殊配管工事部材

（15ページ）

- 給湯加圧装置（選択）
- 負圧弁付空気抜き弁
- 空気分離器 1/2×3/4

■保温・凍結予防工事部材

（16、17ページ）

- 凍結予防ヒーター
- 不凍結水栓

■電気工事部材

（18～19ページ）

- アース棒
- 電源電線

■リモコン工事部材

（20ページ）

- リモコン（セット）
- リモコンコード（選択）

本文中の

- ・AD－品番はパナソニック電気ホームエンジニアリング（株）システム部材開発センター取扱い品です。
- ・PH－品番（給湯加圧装置）はテラル（株）取扱い品です。

部品品番、希望小売価格、お問い合わせはパナソニックエコキュートカタログの「専用別売部材一覧」をご覧ください。その他配管部材等につきましては現地調達願います。

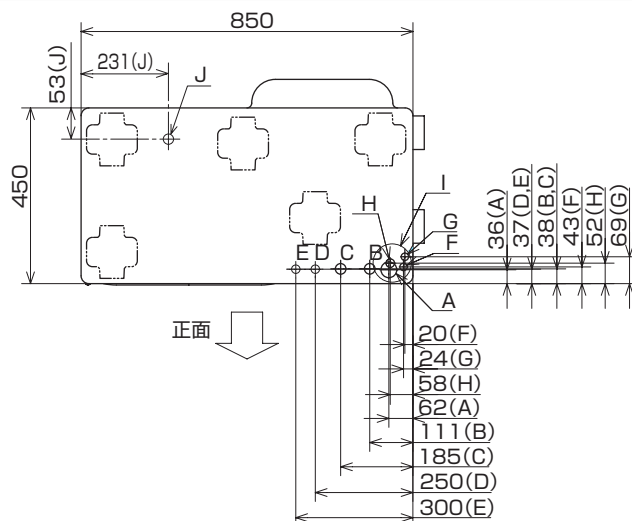
2 関係寸法図

単位：mm

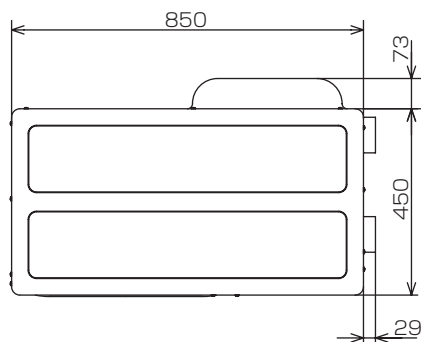
配管位置図

配管位置（底板上面図）

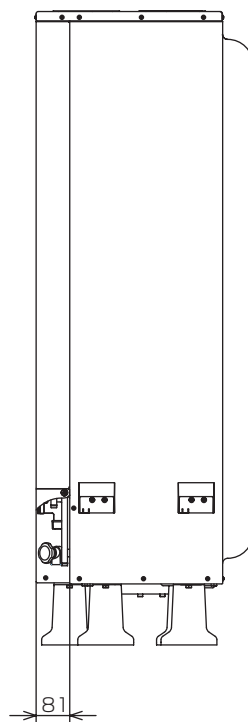
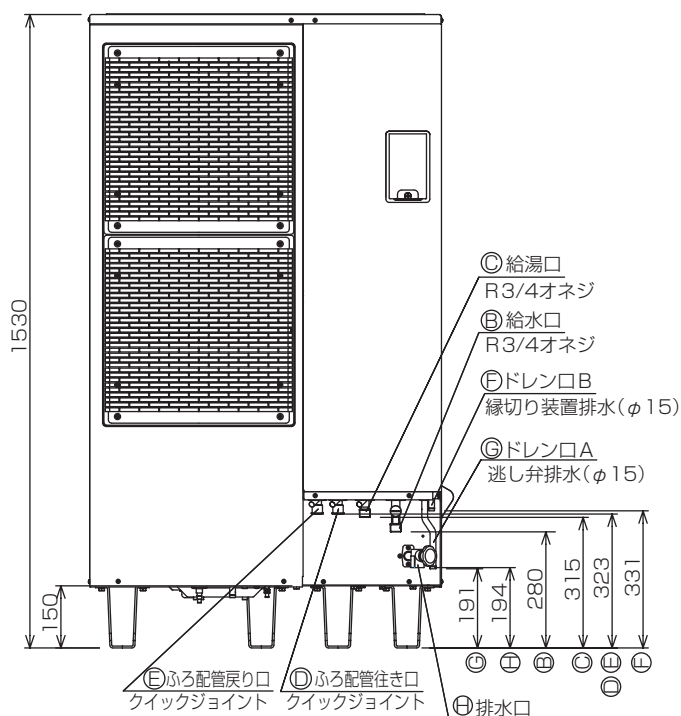
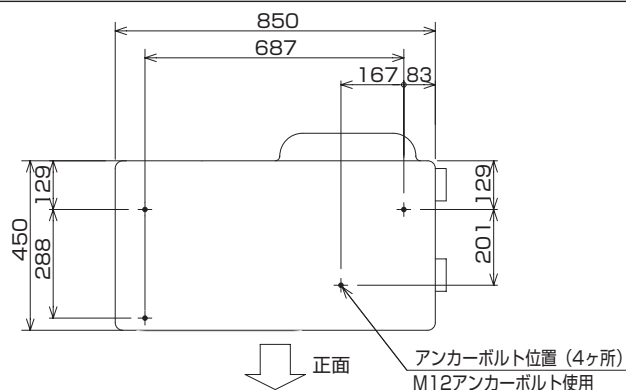
- A：電源用配線貫通穴（ $\phi 40.5$ 穴、プッシング付）
：リモコン線貫通穴
- B：給水口 R3/4オネジ
- C：給湯口 R3/4オネジ
- D：ふろ配管行き口 クイックジョイント
- E：ふろ配管戻り口 クイックジョイント
- F：ドレン口B（縁切り装置排水、 $\phi 15$ ）
- G：ドレン口A（逃し弁排水、 $\phi 15$ ）
- H：排水口位置
- I：排水エルボ位置（別売品）
- J：ドレンエルボ取付穴（ $\phi 20$ ）



外形寸法図



アンカーボルト位置図



3 据付け工事

■設置工事部材

●=必要部材 ○=条件により準備（選択部材）

	部 材 名 と 品 番	備 考
①	○脚部化粧カバー（4方向） 標準高さ用 100 mmカサ上げ用 AD-HE60AF-C AD-HE60AH-C	風の強い地域は、取り付けてください。
②	○カサ上げ金具セット 100 mm AD-HEUP5102	・ 接続用ボルト・ナットセット付 ・ 本体下部の配管スペースを確保できない場合に使用してください。
③	○耐震固定金具セット（選択） RC床用 木質床用 AD-3303FA AD-3303FB	

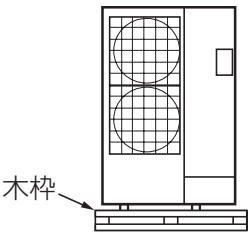
1. 据付け場所

●下記の条件を満足する場所に、お客様の同意のもとで据付け工事を行ってください。

- 湿気の多い場所、火気・引火物の近くを避けること。
- 水が流出しても支障がなく、防水・排水ができること。
- 最低気温が－5℃以下となる場所は避けること。
- 搬入搬出、保守点検、性能維持のため、周囲にスペースを確保すること。
- 配管の保守点検ができるよう配慮されていること。
- 運転時に運転音や振動を発生します。空気吹出口からは冷風が出てきます。隣家・寝室等を配慮した据付け場所を選定すること。
- 排出されるドレン水が排水できること。
- 風通しのよい場所に据付けること。
- 海岸地域、硫化ガス成分が多い地域、機械油などの油分の多い場所ではヒートポンプ給湯機の寿命は短くなることがあります。

お願い

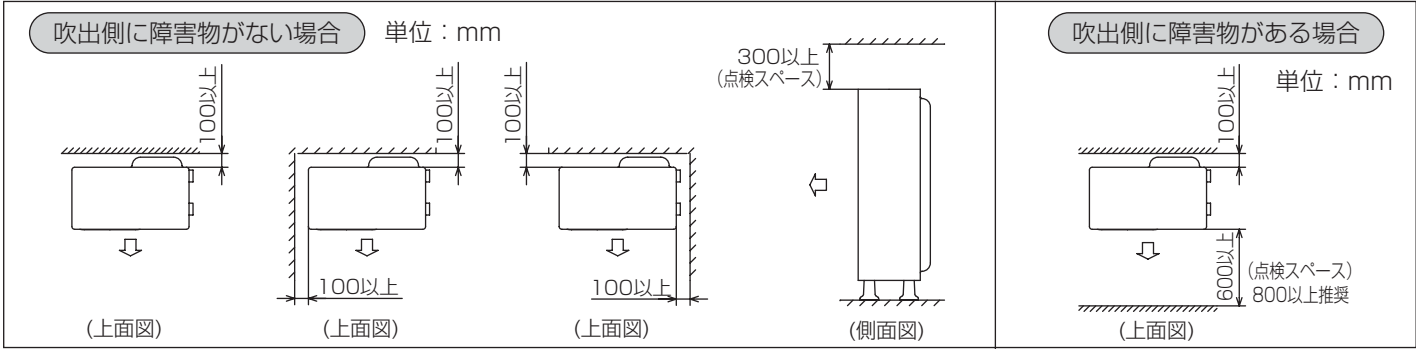
- 空水時は製品が不安定で転倒のおそれがありますので、アンカーボルトでの据付けの直前まで下部の木枠から外さないでください。



●据付け工事には下記のスペースが必要です

■ 据付け所要スペース

- 据付け場所に余裕があれば、効率の良い運転のためにできるだけ広い寸法をお取りください。
- 吹出側に対して前・後・左・右・上のうち少なくとも3方向を開放し、通風路を確保してください。
- やむをえず2方向しか開放できない場合、沸き上げ能力が低下する場合があります。
- 吸入口および吹出口周辺に壁などの障害物がある場所に据付ける場合、下記パターンに従ってください。



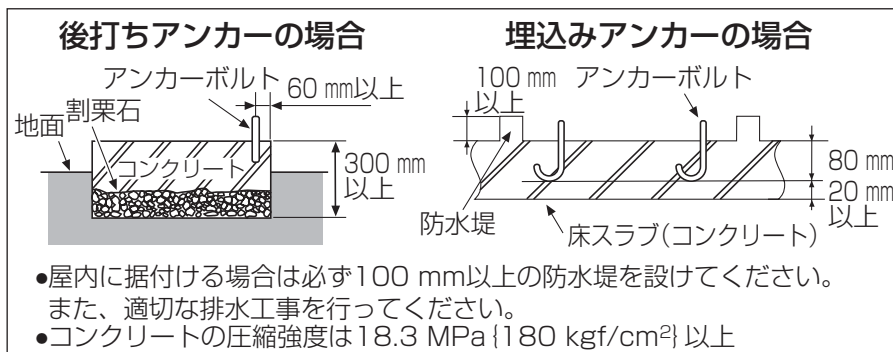
下記のことは必ずお守りください。

- 積雪地域では屋根を設けてください。
空気吸入口、空気吹出口が積雪で閉塞したり、天板に積雪すると故障の原因となります。
- 風の強い場所では、必ず脚部化粧カバーを取り付けてください。（配管接続部の防風対策）
- テレビ、無線機等のアンテナはヒートポンプ給湯機より3 m以上離してください。

3 据付け工事 (つづき)

2. 据付け工事

タンクが満水になると、重くなりますので、強度が十分で水平な床面、または基礎工事（コンクリート床）を行って設置してください。



下記のことは必ずお守りください。

- 転倒を防止するため、本体脚（4か所）をM12アンカーボルトで固定してください。
- アンカーボルトの引抜強度は12000 N以上が必要です。

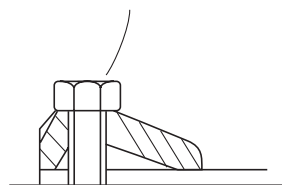
お願い

- 2階以上の場合は、本体上部を耐震固定金具セット（別販品）で固定してください。

■ 耐震固定金具セット（別販品）による施工方法

床材・壁材に合わせて施工してください。

コンクリートスラブへの設置



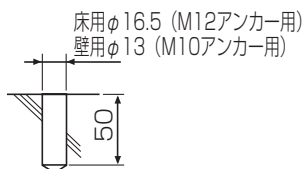
前後4か所を固定する

木質床への設置

- 木質床へ設置する場合は木質床用アンカーボルトで固定し、さらに天部を固定金具で固定してください。

メネジアンカーの施工方法

- ①コンクリートドリルで穴を開ける。



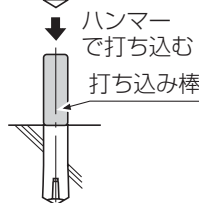
- ②接着剤を穴に注入する。



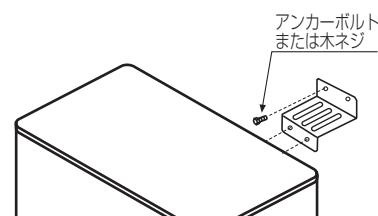
- ③グリップアンカーを入れる。



- ④打ち込み棒を用い、グリップアンカーを叩いて固定する。



本体上部固定の施工法



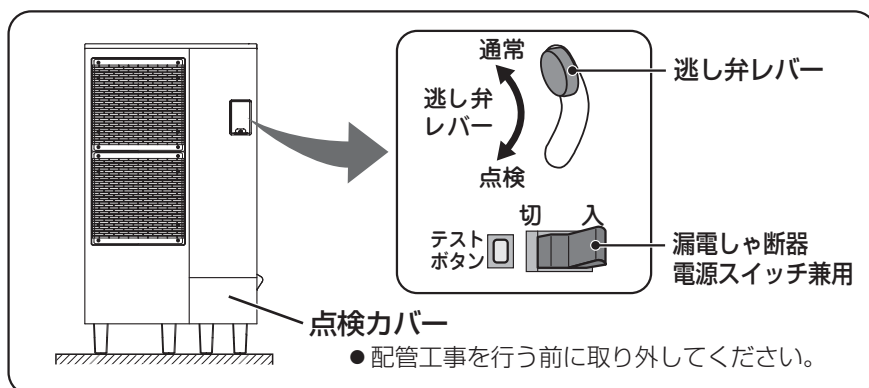
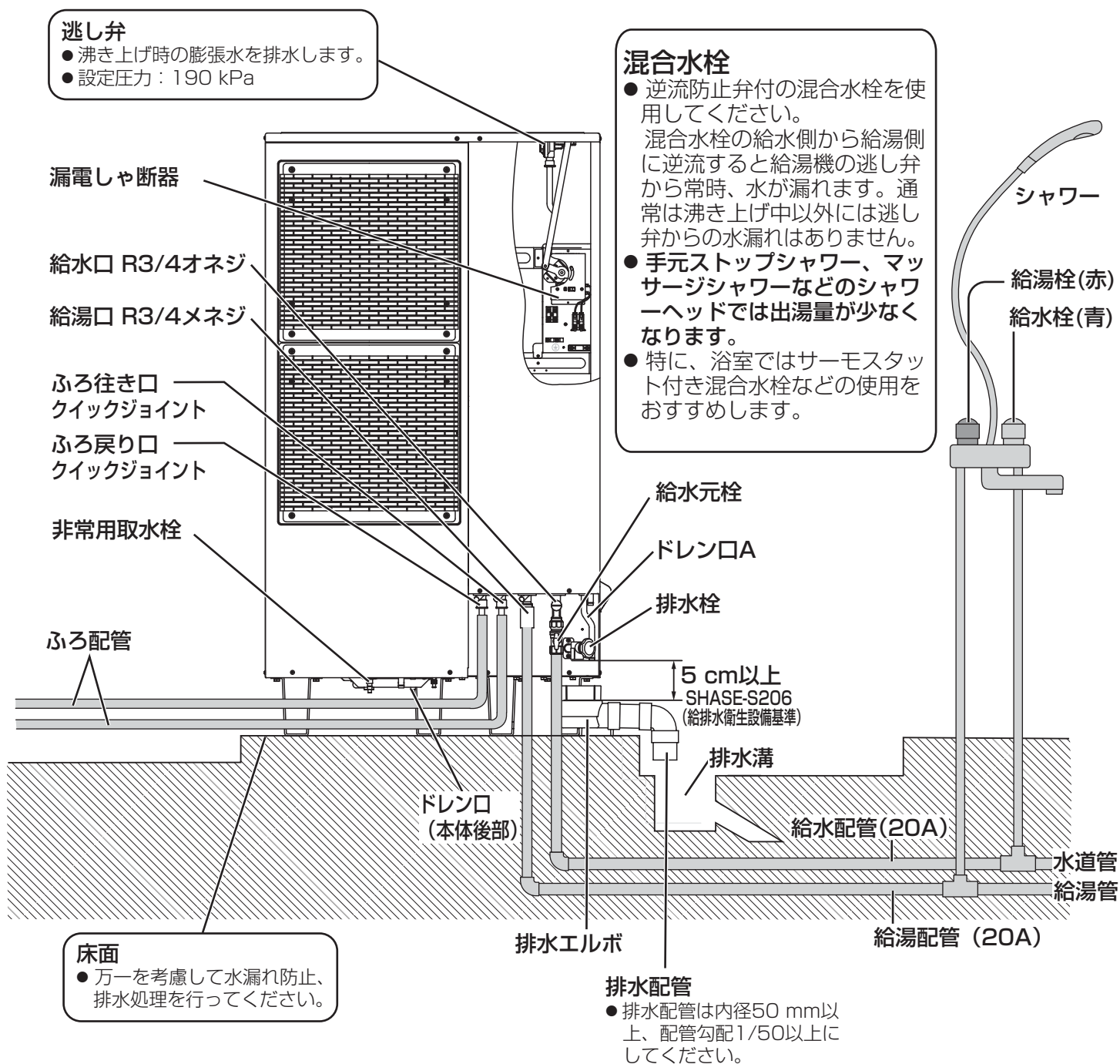
- 引抜強度が4900 N以上に耐える壁または枠を設けてください。
- アンカーボルトの引抜強度は2450 N以上になる施工をしてください。

下記のことは必ずお守りください。

- 積雪地では、小屋がけすること。
- 配管には、本体から出る風を当てないこと。
- 壁面へのネジ固定は、ネジが壁中のラス網と電氣的に絶縁した状態で行うこと。ネジとラス網との接触部が過熱するおそれがあります。

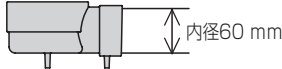
4 配管工事

減圧弁方式標準配管例



4 配管工事（つづき）

■給水・給湯・排水配管部材 ●＝必要部材 ○＝条件により準備（選択部材）

	部 材 名 と 品 番		備 考
①	●給水側止水栓（給水元栓）	AD-HESB66A	20A・Rc3/4×G3/4
②	○給水・給湯配管		現地調達してください。
③	●排水エルボ	AD-HECO4HEL	φ60 

1. 給水配管・給湯配管

- 給湯配管を確認してください。老朽化している場合は配管より水漏れするおそれがあります。（入れ換えのとき）
- 給湯配管は銅管をご使用ください。
- 給水管は銅管、または、合成樹脂内面処理鋼管などをご使用ください。
- 給水元栓（給水側止水栓 品番:AD-HESB66A）は、必ず設けてください。長期間使用しないときの水抜き、タンク内の掃除のとき必要です。
- 給水圧力は200 kPa以上でご使用ください。水圧が低いと十分に能力を発揮することができません。
- 高水圧地区や給水圧力が500 kPaを超える場合は戸別給水用減圧弁を設けてください。

下記のことは必ずお守りください。

- 一般の水道用硬化塩化ビニル管（HI管・VP管）を使用しない。
- 老朽化した配管を使用しない。
- 耐熱硬質塩化ビニル管（HT管）を接着接続した場合、接着剤が本体内部品に付着しないよう硬化後に通水する。
- 配管接続部のシーリング材は耐熱、耐食性のある材料を使用する。

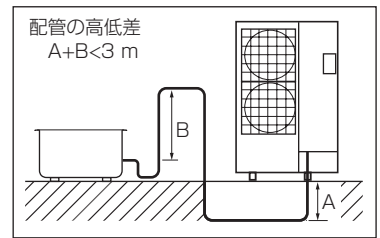
5 ふろ配管工事

ふろ配管接続例

●銅管の配管サイズは「JWWA H101規格（水道用銅管）」の数値です。

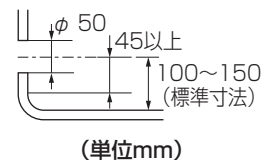
お願い

- ふろ接続アダプターは必ず無極性の専用別売部材をご使用ください。
- 本体設置面から浴そうまでの高さは上方4 m以内、下方ふろ接続アダプター中心まで1.5 m以内としてください。（**6** 特殊配管工事15ページ参照）
- 階下、3階以上のふろ配管はできません。
- 鳥居配管の高低差はトータル3 m以内にしてください。鳥居配管は1か所までです。（右図）
- 必ずふろ配管の水漏れ検査をしてください。（配管に漏れがあると正確な水位検出ができません）
- ふろ配管の途中にフィルターを取り付けしないでください。（短期間でフィルターがつまり、お湯が流れなくなります）



1. 浴そうの穴あけ

- 浴そう穴径……φ 50 mm 1か所
- 浴そう穴あけ位置……底より100～150 mm
（浴そう穴径のセンターからRじまいまでの寸法は45 mm以上）
※100～150 mm（標準寸法）以外では、お湯はりの時間が長くなることがあります。



2. ふろ配管工事

- ふろ配管は被覆銅管または耐熱樹脂管を使用してください。（耐熱、耐食性を有する材料を使用すること）
- 酸性水地域でご使用の場合、ふろ配管に耐熱樹脂管を使用されることをおすすめします。
- 樹脂管は断熱材などで必ず保護してください。（露出すると太陽光線などの紫外線により劣化し、水漏れします）
- 樹脂管は断熱材の上から凍結予防ヒーターを巻いてください。
- ふろ配管の種類、材質、長さ、曲がり数は右表です。
ふろ配管は10 mm以上の断熱材で覆ってください。
- フレキ管は配管接続部の位置ずれを吸収する場合のみに使用してください。長くなると循環水量が少なくなります。

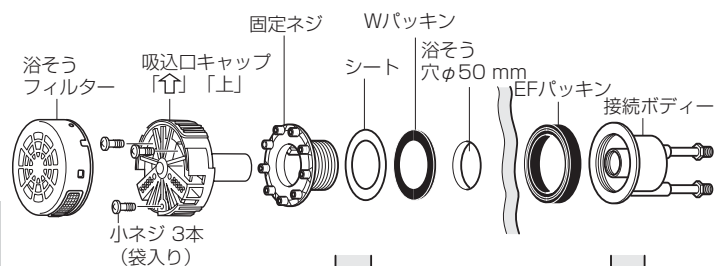
配管の種類、材質	最大配管長（片道）	最大配管曲がり数（片道）
耐熱樹脂管（13A 内径φ12.8以上）	15 m以下	10曲がり
被覆銅管（ツインチューブ）10A（φ12.7）	5 m以下	3曲がり
被覆銅管（シングルチューブ）15A（φ15.88）	15 m以下	10曲がり

※耐熱樹脂管10A（内径φ9.8）は使用しないでください。

3. ふろ接続アダプター取り付け工事（詳細はアダプターの工事説明書参照）

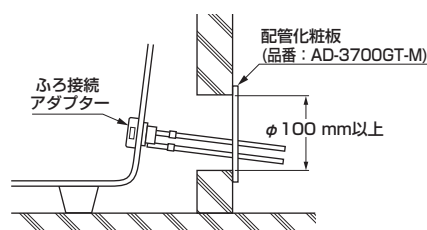
- ふろ接続アダプターの行き口、戻り口に配管を接続した後、下記の手順で取り付けてください。
- ①アダプターの吸込口キャップ、浴そうフィルター、固定ネジを外す。
 - 浴そうフィルターは、吸込口キャップを固定して浴そうフィルターを左に回すと外れます。
- ②保持棒を接続ボディにねじ込み（左ネジ）、取付穴に引っ掛ける。
- ③浴そうの内側から、保持棒を引き寄せ固定ネジをねじ込む。
※EFパッキン、Wパッキン、シートも必ず取り付ける。
- ④保持棒を外し、吸込口キャップ、浴そうフィルターを取り付ける。

- 吸込口キャップの「上」が最も上方になる位置で固定ネジにネジ止めしてください。



4. 配管後の仕上げ

- 工事完了後は右図のように別販の配管化粧板（品番：AD-3700GT-M）で仕上げてください。（点検口兼用）

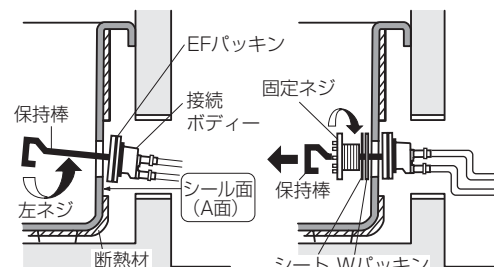


5. ふろ回路の水漏れ検査

- ふろ回路系は専用の漏れ検査治具（品番：AD-G381-Z）で漏れ検査を行ってください。（ふろ回路系に漏れがあると正確な水位検出ができません）
※漏れ検査での加圧作業は、圧力を上げ過ぎないように注意してください。故障の原因となります。

水圧：200 kPa以下のこと 空圧：100 kPa以下のこと

- 保温工事をする前に、現地作業によるゆるみが考えられますので、配管工事完了時の水漏れ確認は、もう一度全系統のチェックをしてください。



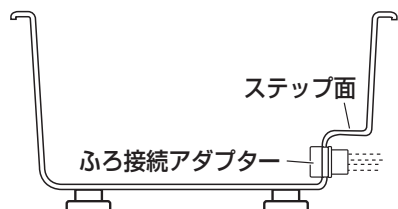
6. 保温工事

- 配管接続部の水漏れの有無を点検した後、ふろ配管に保温工事をしてください。
（12～13ページのふろ配管施工例に示す部）に保温工事を行ってください。）

お願い

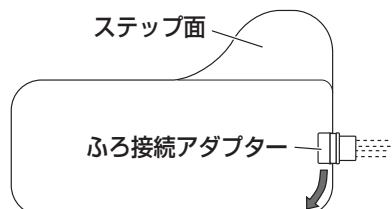
- ステップ付き浴そうを使用する場合は、ふろ接続アダプターからのお湯が浴そう内部に循環しやすいように下記のように取り付けてください。

ふろ接続アダプター取付面にステップがある場合



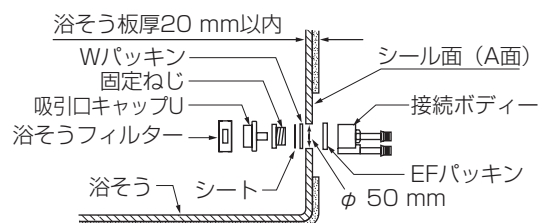
- 必ずステップ面より下にふろ接続アダプターを取り付けてください。
※上に取り付けると、お湯があふれたり温度むらが発生するおそれがあります。

ふろ接続アダプター取付面の側面にステップがある場合

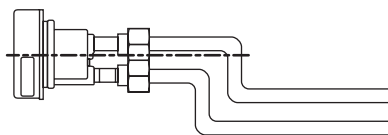


- 必ずステップの反対側にお湯が吹き出すように取り付けてください。
※ステップ側にお湯が吹き出すと、温度むらが発生するおそれがあります。

- ふろ接続アダプターの取り付け位置の浴そう断熱材を除去して、完全にシール面（A面）を確保してください。
※万一水漏れが確認されたときは、増締めまたはシール剤を併用して水漏れを止めてください。

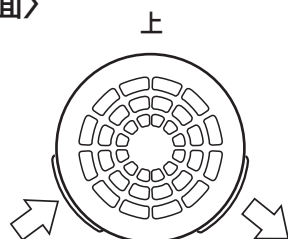


- 本体からふろ接続アダプターまでのふろ配管は下図のようにふろ接続アダプターの中心より低く配管してください。

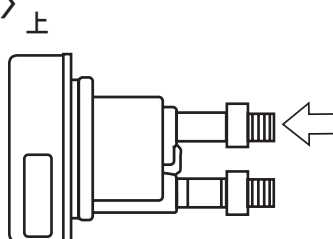


■ふろ接続アダプターの方向について

〈正面〉



〈側面〉



当社の無極性ふろ接続アダプターは、中心に近い配管の方に、ふろ往きを接続すると正面から見て右側からお湯が吹き出します。

5 ふろ配管工事 (つづき)

■ふろ配管部材

【ふろ配管共通】

●=必要部材

○=条件により準備（選択部材）

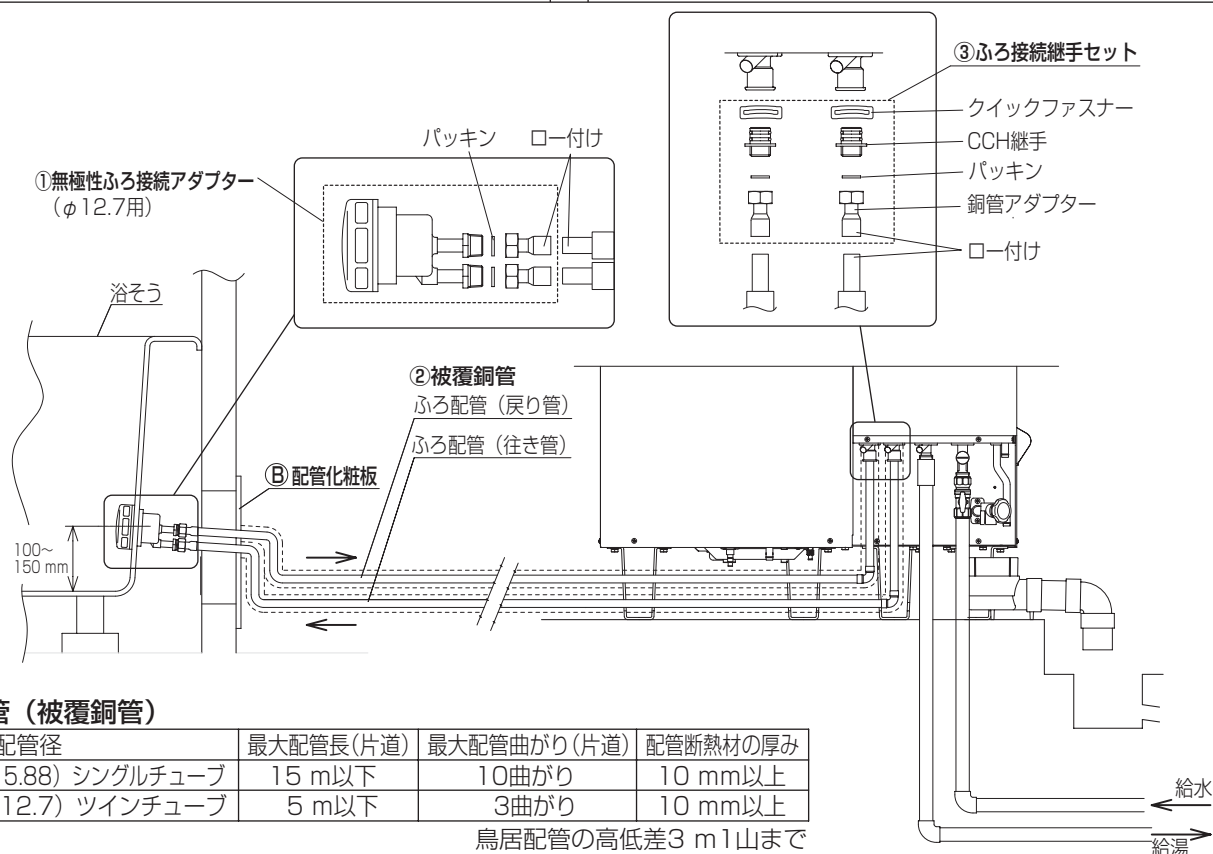
	部 材 名 と 品 番	備 考
①	○厚肉浴槽用ふろアダプター交換部品セット（選択） 20～35 mm AD-G381-X35 35～55 mm AD-G381-X55	
②	○配管化粧板（選択） 2分割タイプ □300 AD-3700GT-L 2分割タイプ □200 AD-3700GT-M	
③	○漏れ検査治具 AD-G381-Z	

【銅管配管例】

●=必要部材

○=条件により準備（選択部材）

部 材 名 と 品 番		
銅管配管5 m以下の場合		銅管配管15 m以下の場合
①	●無極性ふろ接続アダプター（選択）（接続継手付） ショート・ストレートφ12.7用 AD-G381-SF （厚肉浴槽用） AD-G381-SF-B ショート・横出しφ12.7用 AD-G381-LF （厚肉浴槽用） AD-G381-LF-B	① ○無極性ふろ接続アダプター（選択）（接続継手付） ショート・ストレートφ15.88用 AD-G381-SF5 （厚肉浴槽用） AD-G381-SF-A ショート・横出しφ15.88用 AD-G381-LF5 （厚肉浴槽用） AD-G381-LF-A
②	●被覆銅管（選択） ツインチューブφ12.7×10 m AD-3012H3S10 ツインチューブφ12.7×25 m AD-3012H3S25 ツインチューブφ12.7×50 m AD-3012H3S50	② ○被覆銅管 シングルチューブφ15.88×25 m AD-3015H3M-B
③	●ふろ接続継手セットφ12.7銅管用 AD-HEQJ13C （同梱部品）CCH継手 2個 銅管アダプター 2個 クイックファスナー 2個 パッキン 2個	③ ○ふろ接続継手セットφ15.88銅管用 AD-HEQJ15C （同梱部品）CCH継手 2個 銅管アダプター 2個 クイックファスナー 2個 パッキン 2個



ふろ配管（被覆銅管）

配管径	最大配管長(片道)	最大配管曲がり(片道)	配管断熱材の厚み
15A (φ15.88) シングルチューブ	15 m以下	10曲がり	10 mm以上
10A (φ12.7) ツインチューブ	5 m以下	3曲がり	10 mm以上

鳥居配管の高低差3 m1山まで

【樹脂管配管】

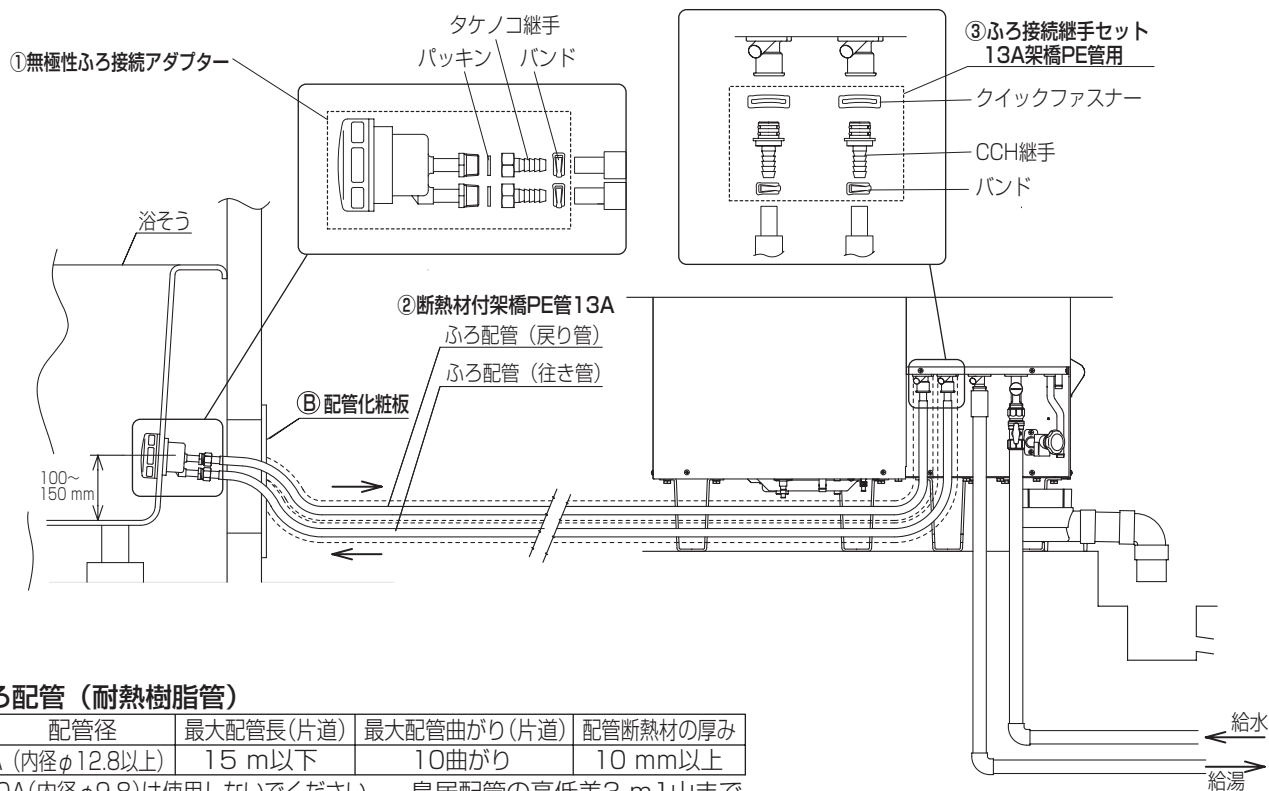
●=必要部材

○=条件により準備（選択部材）

部 材 名 と 品 番		備 考
断熱材付架橋PE管配管（13A）		
①	●無極性ふろ接続アダプター（選択） 13A架橋PE管用・S型 AD-G381-ST3 13A架橋PE管用・L型 AD-G381-LT3	タケノコ継手 2個 バンド 2個 パッキン 2個
②	●断熱材付架橋PE管 13A（選択） 50 m・t10断熱 AD-HWPE350D 10 m・t10断熱 AD-HWPE310D	
③	●ふろ接続継手セット13A架橋PE管用 AD-HEQJ13P （同梱部品）CCH継手 2個 バンド 2個 クイックファスナー 2個	1セット必要です。

下記のことは必ずお守りください。

- 架橋PE管は断熱材などで必ず保護してください。太陽光線などの紫外線により、劣化し、水漏れします。（接続部分等、絶対に露出しないでください）



ふろ配管（耐熱樹脂管）

配管径	最大配管長(片道)	最大配管曲がり(片道)	配管断熱材の厚み
13A (内径φ12.8以上)	15 m以下	10曲がり	10 mm以上

※10A(内径φ9.8)は使用しないでください。 鳥居配管の高低差3 m1山まで

5 ふろ配管工事 (つづき)

【ユニットバス配管】

●=必要部材

○=条件により準備（選択部材）

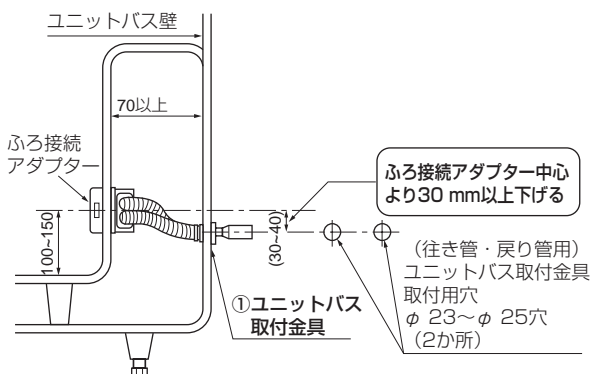
部 材 名 と 品 番		備 考
①	○ユニットバス取付金具（選択） S型・G1/2×φ12.7用 AD-G370-US S型・G1/2×φ15.88用 AD-GWP19-SW L型・G1/2×φ12.7用 AD-G370-UL L型・G1/2×φ15.88用 AD-GWP19-LW	2セット入り 2セット入り 2セット入り 2セット入り
②	○フレキ管（15A）	現地調達してください。
③	○タケノコ継手セット13A用 AD-HEC04TTS	13A架橋PE管用・2個入り

お願い

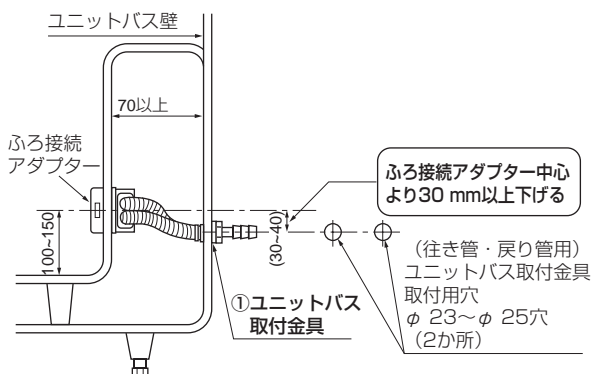
- ユニットバスは水漏れ防止のため、できる限り「防水パン式」を推奨ください。
- ユニット壁と浴そう間の寸法は70 mm以上が必要です。

■ ユニットバス壁への穴あけ [単位: mm]

〈銅管配管の場合〉



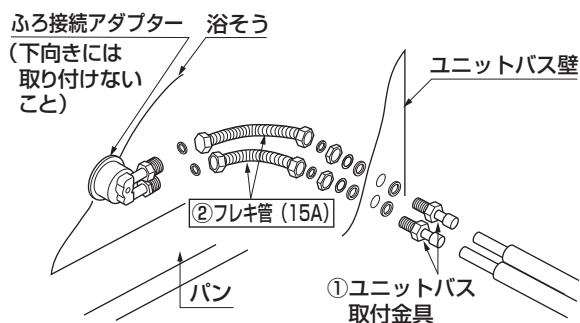
〈樹脂管配管の場合〉



ふろ接続アダプター取付け例

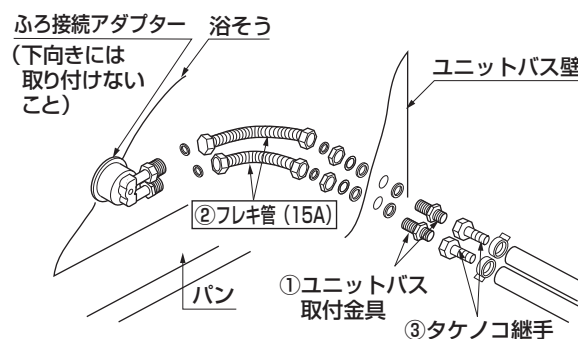
〈銅管配管の場合の設置工事例〉

- ふろ接続アダプターはAD-G381-LHを使用してください。



〈樹脂管配管の場合の設置工事例〉

- ふろ接続アダプターはAD-G381-LHを使用してください。



お願い

- ふろ配管の途中にフィルターを取り付けしないでください。(短期間でフィルターがつまり、お湯が流れなくなります。)

6 特殊配管工事

■特殊配管工事部材

●=必要部材

○=条件により準備（選択部材）

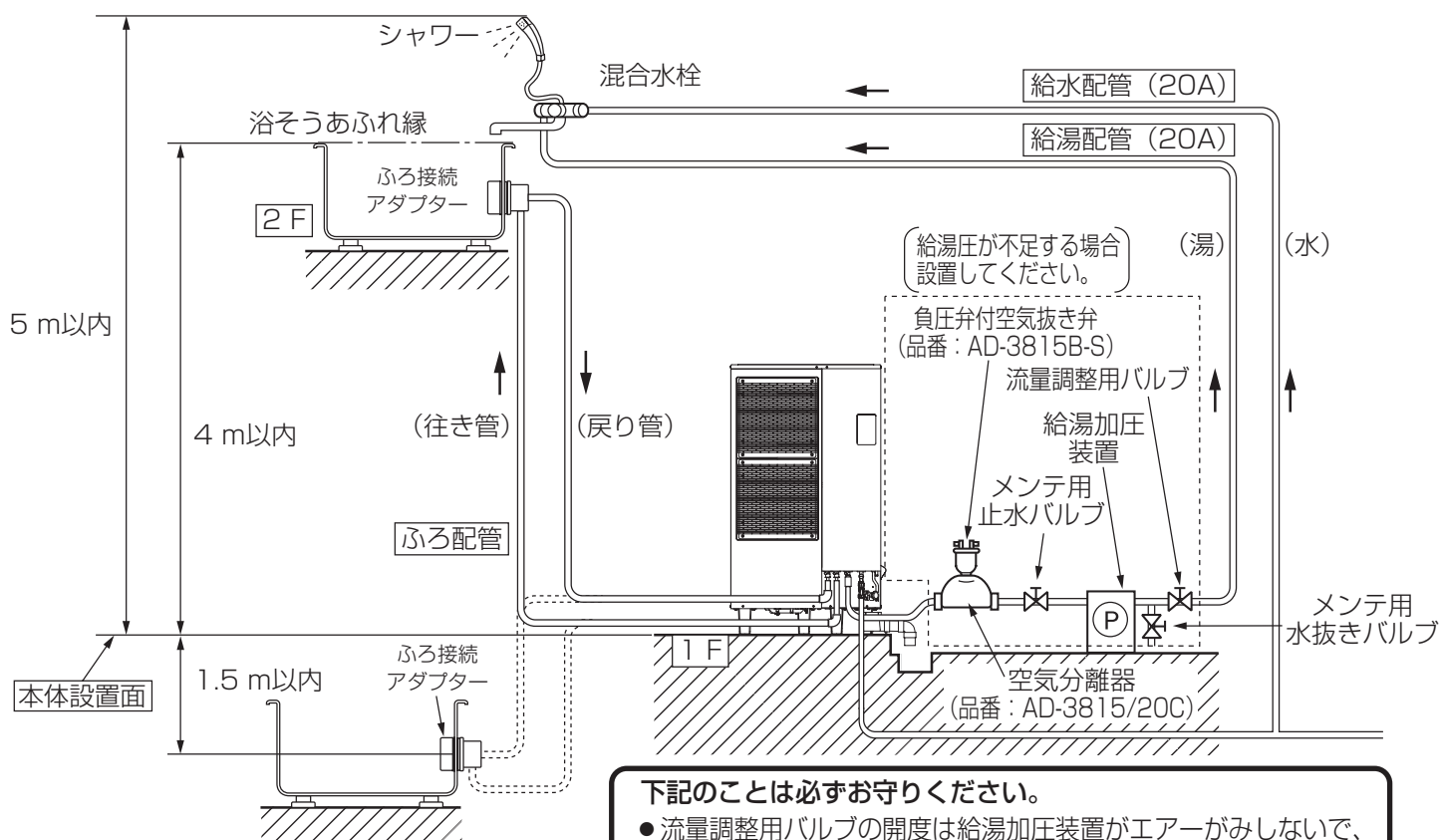
	部材名と品番	備考
①	○給湯加圧装置（選択） 出力 50 W PH-203GT05 出力100 W PH-203GT1	給湯圧が不足する場合、設置してください。
②	○負圧弁付空気抜き弁 AD-3815B-S	階下給湯時、給湯加圧装置使用時に必要です。
③	○空気分離器 1/2×3/4 AD-3815/20C	負圧弁付空気抜き弁使用時に必要です。

1. 2階給湯配管例 ふろ配管例

●階下、3階以上のふろ配管はできません。

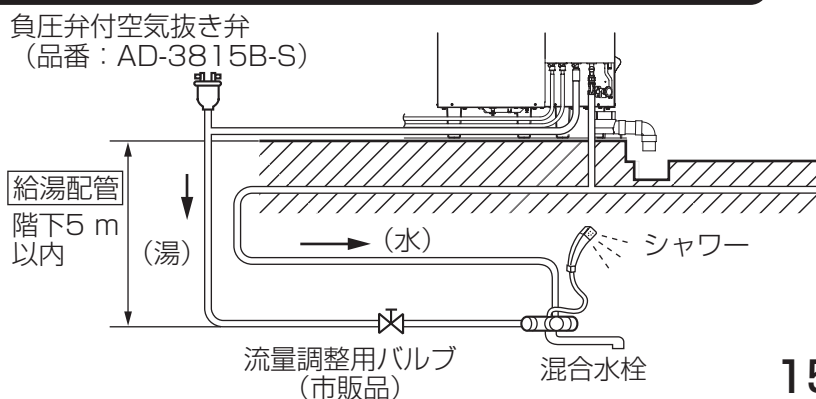
下記の配管例に従って工事してください。

- 給湯加圧装置は必ずテラル(株)製（品番：PH-203GT05,PH-203GT1）を使用し、給湯加圧装置の工事説明書に従って工事してください。
- 給湯配管には負圧弁付空気抜き弁（品番：AD-3815B-S）、メンテ用止水バルブ、メンテ用水抜きバルブ、流量調整用バルブを取り付けてください。
- 給湯加圧装置を使用する場合は、タンクの破損防止のため、必ず負圧弁付空気抜き弁（品番：AD-3815B-S）を取り付けてください。
- 給水圧は200 kPa以上必要です。
- 本体設置面より、浴そうあふれ縁までの高さは上方4 m以内、下方ふろ接続アダプター中心より1.5 m以内としてください。



2. 階下給湯配管例

- 給湯配管は階下5 m以内としてください。
- 給湯配管には、タンクの破損防止のため、必ず負圧弁付空気抜き弁（品番：AD-3815B-S）を取り付けてください。
- 給湯配管に必ず流量調整用バルブ（市販品）を取り付けてください。



7 保温工事・凍結予防工事

■保温・凍結予防工事部材

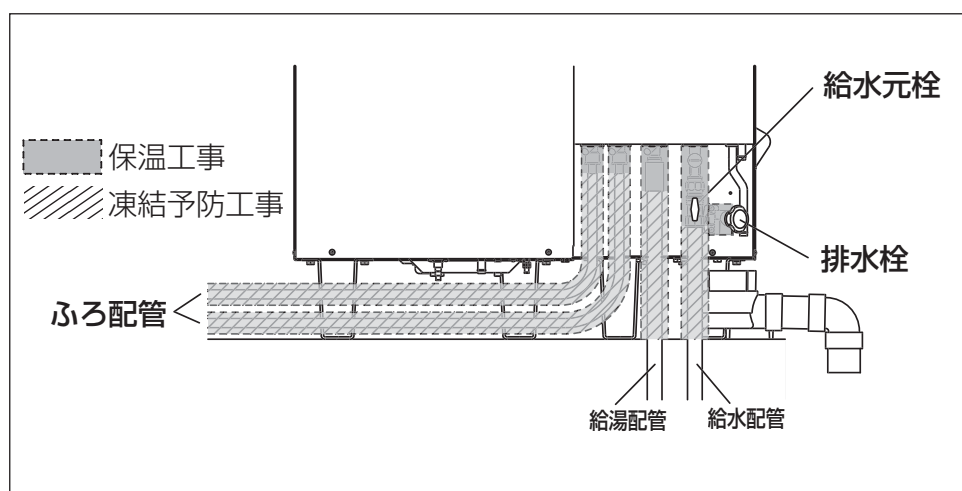
●＝必要部材

○＝条件により準備（選択部材）

	部 材 名 と 品 番	備 考
①	○凍結予防ヒーター	外部の配管に巻きます。（市販品）
②	○不凍結水栓	現地調達してください。

1. 保温工事

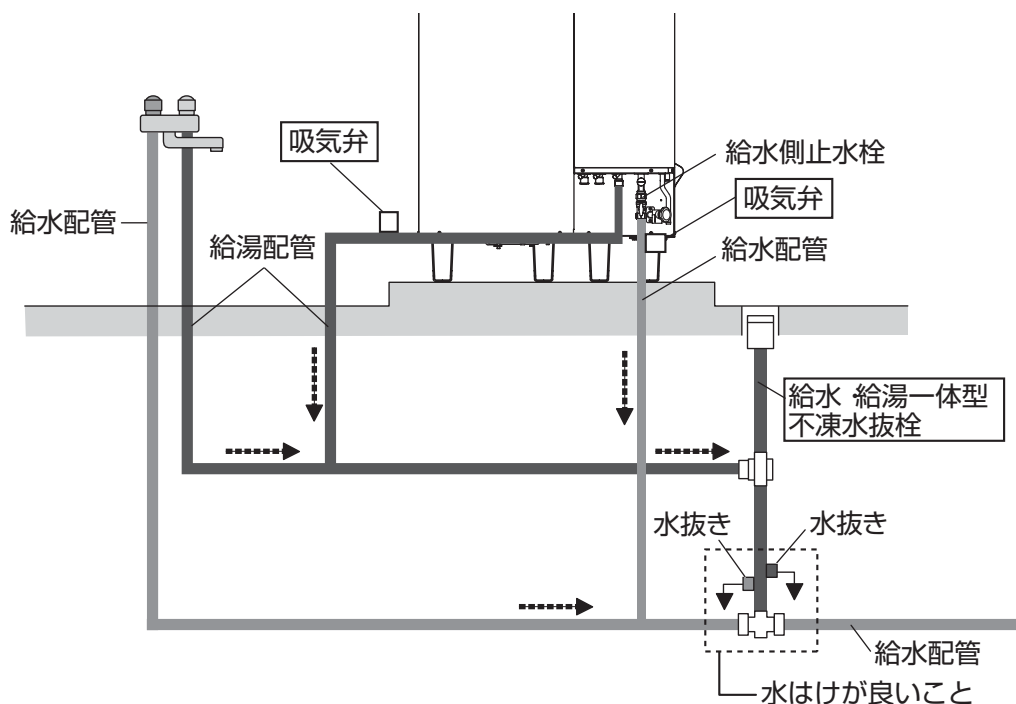
- 保温工事をする前に、現地接続作業によるゆるみや輸送時の接続部のゆるみなどが考えられますので配管工事完了時の水漏れ確認は、もう一度全系統のチェックをしてください。
- 給水配管・給湯配管・ふろ配管および配管構成部材は、十分保温工事をしてください。特に給水側は結露するおそれがありますので確実に行ってください。
- 排水栓および給水元栓は、必ず保温工事を行ってください。故障の原因になります。
- 配管の凍結は、漏水事故の原因となります。凍結のおそれのある地域では、水道用凍結予防ヒーターによる加温が必要です。下記、2.凍結予防工事を参照し、工事を行ってください。
- 風の強い場所では、必ず脚部化粧カバーを取り付けてください。



2. 凍結予防工事 上図の////////は凍結予防工事が必要な部分を示しています。

- 保温工事をしてあっても周囲温度が0℃以下になると配管は凍結します。機器や配管が破損する場合がありますので適切な凍結予防対策の施工をしてください。凍結予防対策とその操作方法をお客様に十分に説明してください。
 - ①凍結のおそれがある配管すべてに凍結予防ヒーターを巻いてください。
 - ②凍結予防ヒーターの施工についての詳細は、凍結予防ヒーター同梱の説明書に従ってください。
 - ③樹脂管配管の場合は、断熱材の上から凍結予防ヒーターを巻いてください。
 - ④凍結予防ヒーターは何本も使用しますので適当な位置にコンセントを設けてください。
 - ⑤凍結予防ヒーターは配管の温度を直接検出するタイプのものを使用してください。
- 推奨品：東京特殊電線 NFオートヒーター（自己温度制御タイプ）

3. 不凍結水栓による凍結予防工事

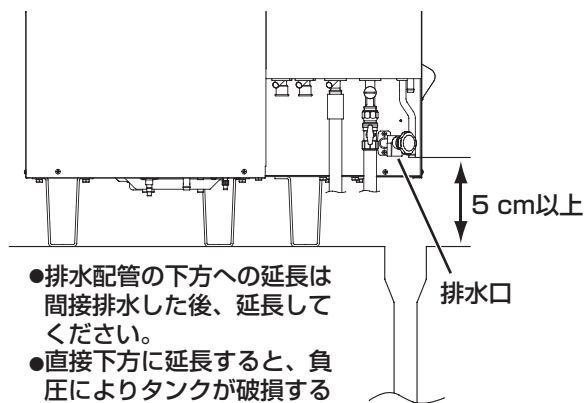
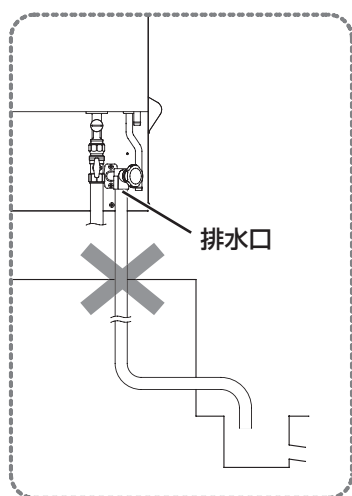


お願い

- 配管システムによっては、貯湯ユニット側の給水配管の水が抜けない場合があるため、吸気弁を取り付けてください。(推奨品(株)光合金製作所 自動吸気弁 品番:LKS)
- 水抜き部は、水はけ性を良くしてください。

下記のことは必ずお守りください。

- 排水口から直接下方へ排水配管を延長しないこと。



- 排水配管の下方への延長は間接排水した後、延長してください。
- 直接下方に延長すると、負圧によりタンクが破損するおそれがあります。

8 電気工事

■電気工事部材

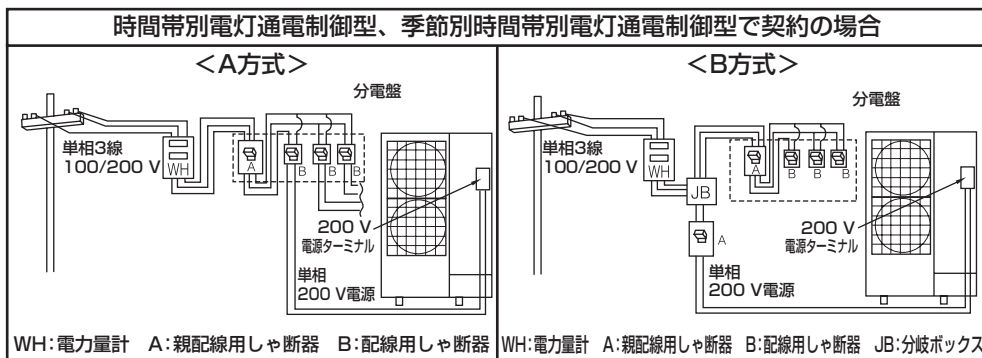
●＝必要部材

○＝条件により準備（選択部材）

	部 材 名 と 品 番	備 考
①	○アース棒 AD-3200	
②	○電源電線	現地調達してください。

1. 200 V電源の配線工事

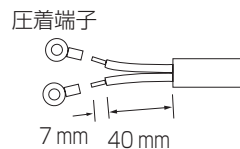
- 「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って指定工事業者が行ってください。
- 電力契約は「時間帯別契約」「季節別時間帯別契約」または「従量電灯」としてください。「深夜電力契約」はできません。
- この機種は昼夜200 Vが通電されます。
- 引込み配線方式（A方式、B方式）を確認していただき、これに合わせた配線工事を行ってください。



■ 200 V電源電線および配線用しゃ断器（ブレーカー）の準備

電源電線	配線用しゃ断器定格
φ 2.6VVFケーブルまたは5.5 mm ² キャプタイヤケーブル	単相200 V 30 A 感度電流 30 mA

- B方式の場合、配線用しゃ断器は、漏電しゃ断機能付きをご使用ください。
- 電源電線の端末は、必ず圧着端子を所定の圧着かしめ工具を用いてかしめてください。
- ヒートポンプ給湯機用電源ブレーカー組込みの分電盤の場合は分電盤より直接配線してください。



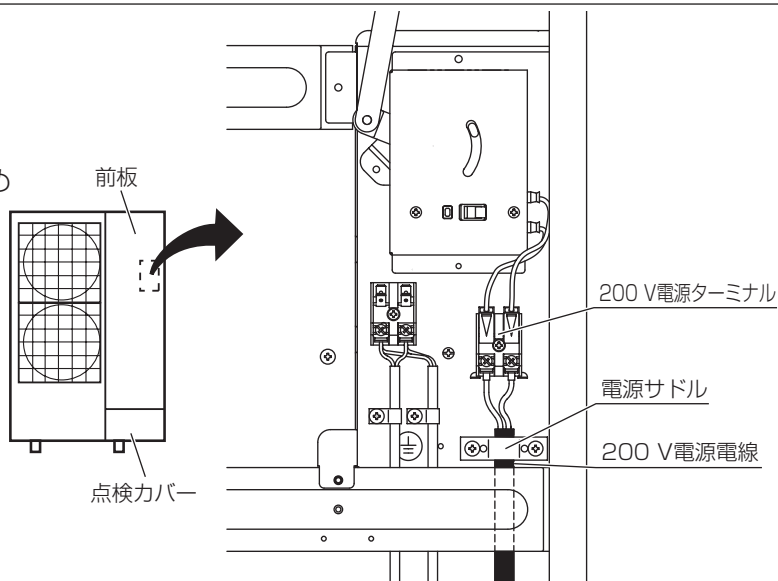
〔圧着端子は、200 V電源ターミナルに取り付けられています。〕

2. 電源配線工事手順

どの電力契約の場合でも電源配線接続は同じです。

- 電気温水器からの買い換え時は、必ず今までの電力契約を確認して配線してください。（深夜電力契約をされていた場合は契約の変更が必要です。）

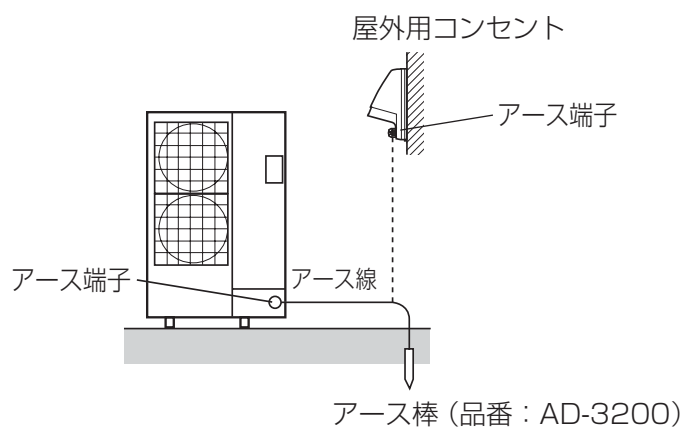
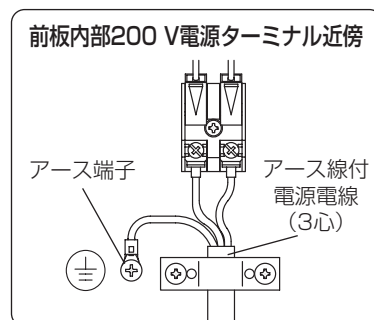
- ①点検カバーのネジをゆるめ、点検カバーをはずす。
- ②前板のネジをゆるめ、前板をはずす。
- ③200 V電源ターミナルに電源電線の圧着端子をネジで固定する。ゆるみがないように確実に締め付けてください。
- ④電源電線を電源サドルで固定する。
- ⑤前板をネジで固定する。
- ⑥点検カバーをネジで固定する。



3. アース工事（D種接地工事）

万一の感電事故防止のため、電気設備技術基準に基づき、必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。

- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路、または漏電しゃ断器を入れた他の製品のアース回路には接続しないでください。
- アース端子は、アース線付電源電線（3心）を使用される場合にのみご使用ください。（右図）
- 専用線で接地する場合は、必ず本体下部のアース端子をご使用ください。
- アース線は緑色の直径1.6 mm以上の単線を使用してください。
- 接地抵抗値は100 Ω 以下であることを確認してください。



警告

アース工事（D種接地工事）を行う



アース線接続

（故障や漏電のときに感電の原因になります）

9 リモコン工事

このリモコン工事は本体への取付工事説明です。台所リモコン、浴室リモコンおよび増設リモコンの取付工事についてはリモコン（セット）に同梱の工事説明書に従ってください。

■リモコン工事部材

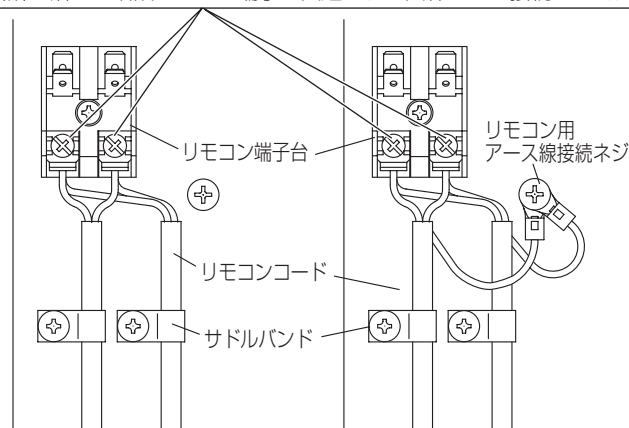
●＝必要部材 ○＝条件により準備（選択部材）

	部 材 名 と 品 番	備 考
①	●リモコン（セット） コミュニケーションリモコンセット HE-AQFAWP 増設リモコン HE-AQVAZP	台所リモコン：HE-AQFAMP 浴室リモコン：HE-AQFASP
②	●リモコンコード（選択） シールド付リモコンコード 3 m AD-GWP102-3 シールド付リモコンコード 5 m AD-GWP102-5 シールド付リモコンコード 8 m AD-GWP102-8 シールド付リモコンコード 10 m AD-GWP102-10 シールド付リモコンコード 15 m AD-GWP102-15 シールド付リモコンコード 20 m AD-GWP102-20 リモコンコード 5 m AD-OBPC2K5 リモコンコード 10 m AD-OBPC2K10 リモコンコード 15 m AD-OBPC2K15 リモコンコード 20 m AD-OBPC2K20	キャプタイヤコード } 2心 0.5 mm ² } } 2心 0.75 mm ² シールドなし

リモコンコードの接続

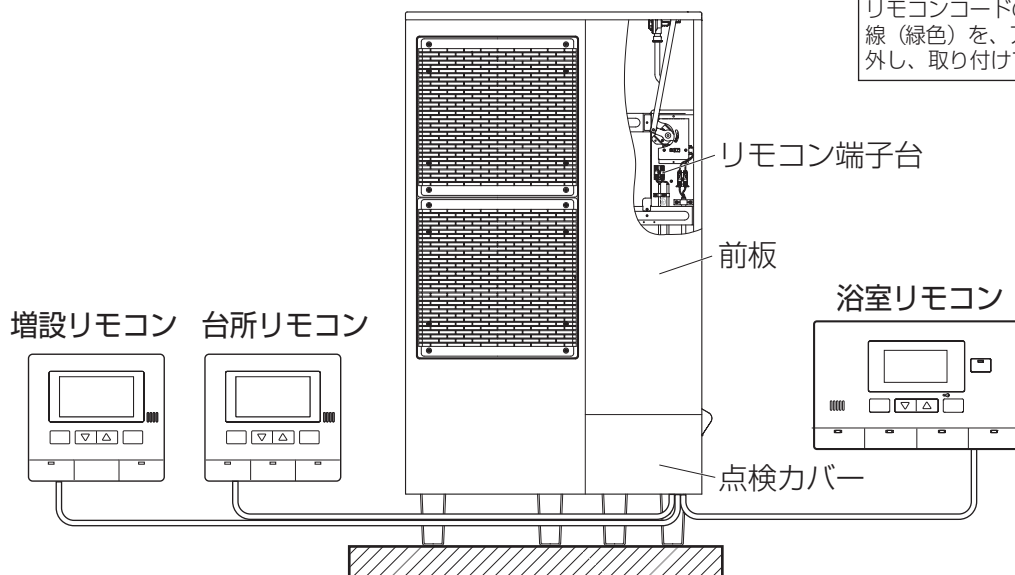
- ①点検力バーのネジをゆるめ、点検力バーをはずす。
- ②前板の取り付けネジをゆるめ、前板をはずす。
- ③台所リモコンコードと浴室リモコンコードを右図のようにリモコン端子台に接続する。
(リモコンコードは専用別売部材を使用してください)
- ④リモコンコードを、サドルバンドで固定する。
- ⑤本体側の電気工事・リモコン工事終了後、電源電線、リモコンコードがかみ込まないように注意して、前板をネジで固定する。
- ⑤点検力バーをネジで固定する。

台所・浴室・増設リモコン端子は共通です。共締めして接続してください。



**シールド付リモコンコード
(品番:AD-GWP102)を使用する場合**

リモコンコードのリモコン用アース線（緑色）を、アース線接続ネジを外し、取り付けてください



10 確認・試運転

1. 工事完了後の確認

- 「チェックシート」(26、27ページ)に従って、チェックしてください。
- 通電する前に、タンクを満水にして、空気抜きを行ってから試運転を行ってください。

2. 試運転の前に

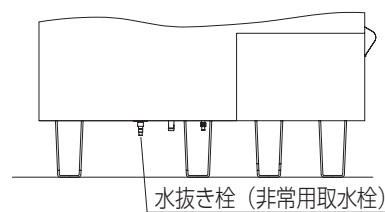
■ タンクを満水にする(操作部は7ページを参照してください)

- ① 給水元栓を「開」にし、排水栓を「閉」にする。
- ② 逃し弁のレバーを「点検」位置へ下げる。
- ③ ドレン口A(9ページ)から連続的に水が出ることを確認する。(約10～15分かかります)
- ④ 逃し弁レバーを「通常」位置へもどす。
- ⑤ 混合水栓の給湯栓(赤)を開き、しばらく流し洗いする。
- ⑥ 混合水栓の給湯栓(赤)を閉じ、給水栓(青)を開いて同様に流し洗いをした後、給水栓(青)を閉じる。
- ⑦ 配管接続部からの水漏れがないことを確認する。

■ ヒートポンプの空気抜きをする

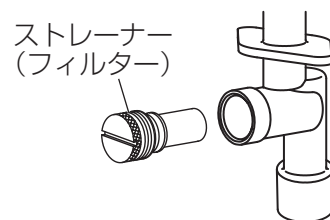
必ず手順に従って空気抜きを行ってください。空気抜きが不十分ですとヒートポンプ給湯機の運転が停止します。

- ① ヒートポンプの水抜き栓(非常用取水栓)を開ける。
 - 勢いよく水が出ることを確認する。
 - 1分以上行ってください。
- ② ヒートポンプの水抜き栓(非常用取水栓)を閉じる。



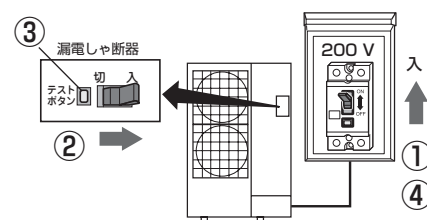
■ ストレーナー(フィルター)を掃除する

- ① 給水元栓を閉じる。
- ② つまみを回し、給水口に付いているストレーナー(フィルター)を取り外す。
- ③ ストレーナー(フィルター)に付着のごみを水洗にて取り除き、再びつまみを回し、取り付ける。
- ④ 給水元栓を開き、水漏れの有無を確認する。



■ 漏電しゃ断器の作動確認をする

- ① 配線用しゃ断器が「入」になっていることを確認する。
- ② 漏電しゃ断器が「入」になっていることを確認する。
※ 外気温が低いと、凍結予防のために循環ポンプが自動的に動き、音がしますが異常ではありません。
- ③ 漏電しゃ断器が作動するかテストボタンを押して確認する。
「切」になれば正常です。
- ④ 確認後再度「入」にする。

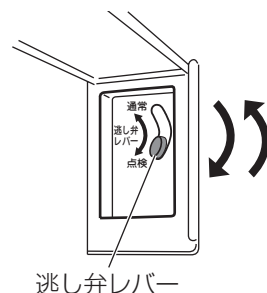


■ 対応電力制度の内容を確認し試運転時に電力契約の設定を行う

10 確認・試運転 (つづき)

■ タンクの空気抜きのしかた

- 試運転ナビの途中に、「タンクの空気抜きをしてください」と表示がでたとき、タンクの逃し弁レバーを「点検」位置へ下げ、タンク内の空気を取り除いてください。
- ドレン口Aから連続的に水が出るようになったら、逃がし弁レバーを「通常」位置へもどしてください。



■ 沸き上げ・ふろ試運転時の確認内容

ヒートポンプの運転が開始してから終了するまで、異常のないことを確認してください。

- 外気温が高いとき、沸き上げ開始時、送風ファンが停止し、圧縮機だけがしばらく運転しますが異常ではありません。
- 沸き上げ試運転時には「沸き上げ湯量設定」に関係なく沸き上げ動作になります。
沸き上げ試運転終了後も「沸上中」表示は継続することがあります。
- ふろ試運転時には、ふろ接続アダプターが隠れるまで断続的に注水します。

■ ふろ試運転時の注意（試運転は水で行います）

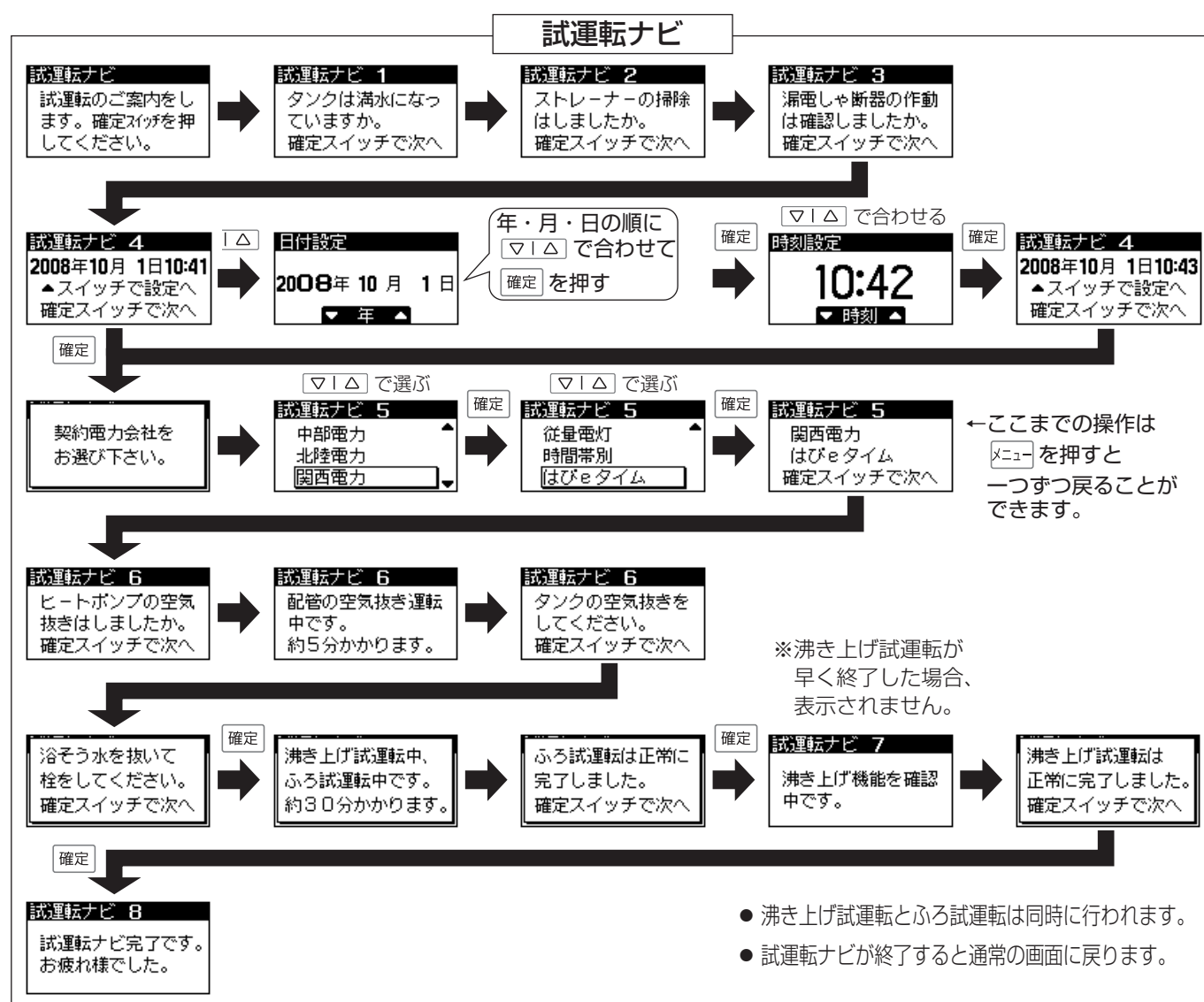
- 混合水栓から浴そうへのお湯はりはしないでください。
- 必ずふろ試運転をしてください。試運転をしないと水位がずれたりお湯があふれたりする場合があります。

お願い

- タンク内が満水になっていることを必ず確認してください。満水にしないとヒートポンプ給湯機の運転が停止する場合があります。
- 試運転中に異常表示が出たときは、サービス説明書（前板裏面に貼り付け）の異常表示を確認し、漏電しゃ断器を「切」にし、異常原因の処置を行った後、漏電しゃ断器を「入」にして、再度試運転ナビを行ってください。（試運転ナビは自動で入ります。行っていない試運転の項目が案内されますので、確認および試運転を行ってください）
試運転動作を中止すると電源が入ったとき、再度試運転となりますので確実に試運転を終了してください。
- サービス説明書は元の位置（前板裏面）に戻してください。


- 試運転ナビは台所リモコンでのみ行えます。
- 試運転を一度もしたことがない場合は、漏電しゃ器を「入」にすると、リモコンの表示は試運転ナビになります。試運転を行わないと、使用することができません。
- 試運転ナビにならないときは、次ページの「5. 再度試運転を行うには」に従い行ってください。

試運転ナビになりましたら、試運転ナビに従って確認および試運転を行ってください。
(所要時間：約30～40分)



10 確認・試運転 (つづき)

4. 試運転後は

- ① 風呂温度、風呂湯量（水位）設定は、お客様とご相談のうえ、お客様ご希望の設定にしてください。
- ② 非常用取水栓の使用上の注意事項をお客様に説明してください。
- ③ その日からお湯を使うときは  を押して沸き上げてください。

5. 再度試運転を行うには（試運転ナビ終了後、電力制度の再設定を行う場合など）

- 試運転ナビ、沸き上げ試運転、風呂試運転、電力制度設定、空気抜きが個別に行えます。
- 浴室リモコンでは、試運転ナビは行えません。

1. 台所リモコンの を4回押す

（浴室リモコンの場合は5回）

- リモコン設定画面が表示されます。

2. の を10秒間押しつづける

- メンテメニュー画面が表示されます。

3. で「試運転」を選ぶ

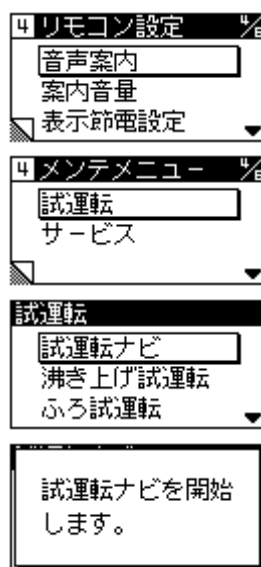
4. を押す

5. で希望の項目を選ぶ

-  を押すと、電力制度、空気抜きが表示されます。

6. を押す

選んだ項目の試運転が行えます。



6. サービス店TEL登録のしかた

お客様からのお問い合わせ窓口の電話番号の登録ができます。

1. 台所リモコンの を4回押す

- リモコン設定画面が表示されます。

2. の を10秒間押しつづける

- メンテメニュー画面が表示されます。

3. で「試運転」を選ぶ

4. を押す

5. で「サービス店TEL登録」を選ぶ

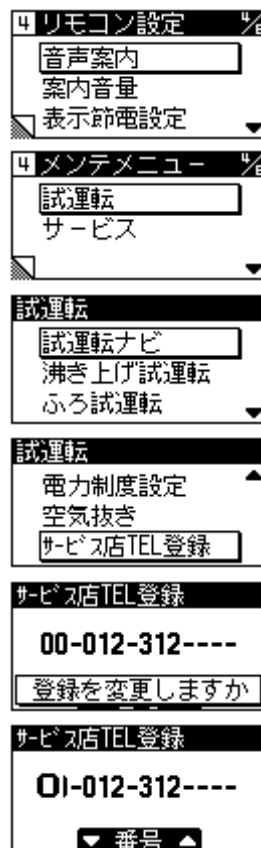
6. を押す

- 「登録を変更しますか」の表示が出ます。

7. を押す

8. し で番号を合わせる

戻るときは  を押す



下記のことは必ずお守りください。

試運転後、お客様が使用せずに放置される場合、凍結防止およびタンク内を清潔に保つため、漏電しゃ断器、配線用しゃ断器（ブレーカー）を「切」にし、ふろ配管および本体内の水抜きをしてください。

（水抜きの手順は28～29ページに従ってください）

凍結による修理は保証の対象外です。

※ お客様には、取扱説明書の安全上のご注意、お手入れの方法、タオル、浴そうなどが青くなることがあること（取扱説明書に記載の「お知らせとお願い」参照）やヒートポンプ給湯機用の漏電しゃ断器、配線用しゃ断器（ブレーカー）の場所などを十分ご説明ください。

※定期点検が必要です。

お客様に次のことを説明していただき、定期点検を行ってください。

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、3年に1回程度の定期点検を行ってください。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 給水用具（逆流防止装置）は（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検を実施してください。期間は3年に1回程度をおすすめします。

※ 保証書に所定事項をご記入の上、取扱説明書、工事説明書とともにお客様にお渡しください。保証書に所定事項（ご販売店名・工事店名印・据付け年月日など）の記入がないと、無料修理をお引き受けしないことがあります。

※ その他、設置工事などについてご不明な点がございましたら、ご購入先の設備会社または、ご販売店までご連絡ください。

各電力会社別電力契約メニューと対応電力制度表示

●：対象

電力会社名	電力契約	名称	深夜時間帯	対応電力制度（直接設定）									
				H08	H09	H17	※F08	※B08	H16	H18	H10	H19	H24
東北電力	時間帯別電灯契約	やりくりナイト8	23:00～7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		やりくりナイト10	22:00～8:00	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—
		やりくりナイトS	22:00～8:00	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—
	従量電灯契約	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
東京電力	時間帯別電灯契約	おトクなナイト8	23:00～7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		おトクなナイト10	22:00～8:00	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—
	季節別時間帯別電灯契約	電化上手	23:00～7:00	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—
	従量電灯契約	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
中部電力	時間帯別電灯契約	タイムプラン	23:00～7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	季節別時間帯別電灯契約	Eライフプラン	23:00～7:00	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—
	従量電灯契約	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
北陸電力	時間帯別電灯契約	エルフナイト8	23:00～7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		エルフナイト10	22:00～8:00	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—
	季節別時間帯別電灯契約	エルフナイト10プラス	22:00～8:00	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—
	従量電灯契約	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
関西電力	時間帯別電灯契約	—	23:00～7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	季節別時間帯別電灯契約	はぴeタイム	23:00～7:00	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—
	従量電灯契約	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
中国電力	時間帯別電灯契約	エコノミーナイト	23:00～8:00	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
	季節別時間帯別電灯契約	ファミリータイム	23:00～8:00	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
	従量電灯契約	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
四国電力	時間帯別電灯契約	得トクナイト	23:00～7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	季節別時間帯別電灯契約	電化Deナイト	23:00～7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	従量電灯契約	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
九州電力	時間帯別電灯契約	—	23:00～7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		よかナイト10	22:00～8:00	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—
	季節別時間帯別電灯契約	電化deナイト	22:00～8:00	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—
	従量電灯契約	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
沖縄電力	時間帯別電灯契約	—	23:00～7:00	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	季節別時間帯別電灯契約	Eeらいふ	23:00～7:00	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—
	従量電灯契約	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●

※リモコンの電力制度表示部に「F08」、「B08」を表示しますが、対応電力制度はありません。

（2008年3月現在）

10 確認・試運転(つづき)

チェックシート

据付け工事終了後、必ず下記の事項を確認してください。

【工事チェック】

据付け工事

チェック

- ☐ ①床に防水処理、および漏水時の排水処理をしていますか。
- ☐ ②コンクリート基礎台を設けていますか。
- ☐ ③本体脚部は、アンカーボルトで固定していますか。
- ☐ ④本体上部は強度のある壁に固定していますか。(当社部材を使用したとき)
- ☐ ⑤工事説明書どおりに点検スペースを確保していますか。
- ☐ ⑥本体の質量に十分耐え、騒音や振動が増大しない場所に設置していますか。
- ☐ ⑦近くにガス類容器や引火物を置いていませんか。

〈据付工事店さま記入〉

据付工事店名	電話番号	担当者名
--------	------	------

配管工事

チェック

- ☐ ①給水元栓が取り付けられていますか。
- ☐ ②水道水を使用していますか。(井戸水は使用不可)
- ☐ ③排水時、排水があふれたり、排水溝より水があふれていませんか。
- ☐ ④排水口と排水エルボの間は5 cm以上の吐水口空間がありますか。
- ☐ ⑤ふろ配管は工事説明書に従った配管径、長さ、曲がり数で工事していますか。
- ☐ ⑥ふろ接続アダプターは専用別売部材を使用していますか。
- ☐ ⑦保温工事は、適切に行っていますか。
(給水配管、給湯配管、ふろ配管に断熱材は巻かれていますか)
- ☐ ⑧ドレン工事を行っていますか。

〈据付工事店さま記入〉

据付工事店名	電話番号	担当者名
--------	------	------

電気工事・リモコン工事

チェック

- ☐ ①電源は200 V配線をしていますか。(誤って100 V配線をするとH95エラーを表示)
- ☐ ②アース工事は適切に行っていますか。
- ☐ ③配線用しゃ断器(ブレーカー)が取り付けられていますか。
- ☐ ④リモコンコードは断線していないか確認しましたか。(断線しているとリモコンが表示しません)

〈据付工事店さま記入〉

据付工事店名	電話番号	担当者名
--------	------	------

【試運転チェック】

試運転の確認

チェック

- ☐ ①タンクを満水にし、空気を抜き、水漏れがないかを確認しましたか。
- ☐ ②本体内の空気抜きを行いましたか。(空気抜き不十分の時、F12エラーを表示)
※工事説明書「10確認・試運転」に従い、行っていますか。
- ☐ ③ストレーナー（フィルター）の掃除をしましたか。
(配管工事でのごみがストレーナーにつまり流量低下する場合があります)
- ☐ ④漏電しゃ断器のチェックを行い、正常に動作しますか。
- ☐ ⑤時刻を合わせましたか。(正確に合わせないと沸き上げ開始時刻が変わってきます)〈取扱説明書16ページ〉
- ☐ ⑥リモコン設定がお客様の電力会社との契約の設定になっていますか。(試運転ナビで設定)
- ☐ ⑦試運転ナビを行いましたか。沸き上げ試運転を行い異常がありませんでしたか。
- ☐ ⑧ふろ循環中に水漏れ、エアーがみしていないかを確認しましたか。
(水位設定がくるい浴そうの湯があふれる場合があります)
- ☐ ⑨シャワーからの流量は十分か確認しましたか。(シャワー流量が少ないとき、水圧と給水口のストレーナーを確認)
- ☐ ⑩サービス店TEL登録をしましたか。

〈据付工事店さま記入〉

据付工事店名	電話番号	担当者名
--------	------	------

【お引き渡し】

チェック

- ☐ ①取扱説明書の注意事項、各種設定と操作方法、非常用取水栓の使用上の注意事項、お手入れの方法および、お客様の電力会社との契約内容がリモコンに設定されていることを説明しましたか。
- ☐ ②定期点検整備が必要なことを説明しましたか。
- ☐ ③保証書に所定事項記載後、取扱説明書、工事説明書とともに、お客様に渡しましたか。
- ☐ ④凍結のおそれがある場合に電源は「入」になっていますか。電源を切る場合は次ページの「お引き渡しまでに漏電しゃ断器を「切」にすると凍結のおそれがある場合の水抜き手順」の項に従い、水抜き処理を行いましたか。(冬期工事時)

〈据付工事店さま記入〉

お引き渡し日（ 年 月 日）

据付工事店名	電話番号	担当者名
--------	------	------

【点検修理履歴チェック】

〈お客さまへ〉 •工事不良に関する不具合は保証の対象外です。
 •工事・試運転に不具合のある場合、上記据付工事店に連絡してください。

〈据付工事店さまへ〉 •点検修理の際は、下記内容を記載してください。

点検日	点検内容	処置・交換部品	点検工事店・担当者名

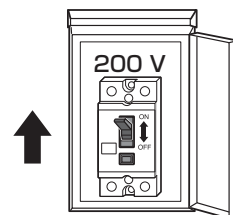
10 確認・試運転(つづき)

■ お引き渡しまでに漏電しゃ断器を「切」にすると凍結のおそれがある場合の水抜き手順

ふろ配管の水抜き

- 1 配線用しゃ断器（ブレーカー）および本体の漏電しゃ断器が「入」になっていることを確認する

配線用しゃ断器（ブレーカー）



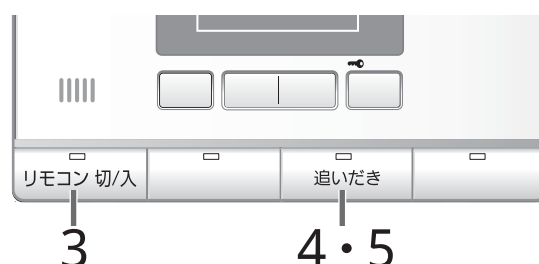
漏電しゃ断器（本体操作部）



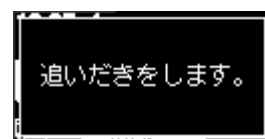
- 2 浴そうの栓を抜き、浴そうを空にする

- 3 リモコン 切/入 を押す ● ランプ点灯。

<浴室リモコン>



- 4 追いだき を押す ● ランプ点灯。
● 使用可能湯量が少ないときは、「湯量が少ないため」と「追いだき待機中。」が交互に表示。



- 5 ふろ接続アダプター（循環口）から水が出なくなったら

- 追いだき を押す ● ランプ消灯。

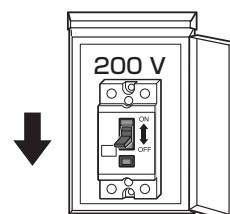
- 6 漏電しゃ断器を「切」にする

漏電しゃ断器（点検操作部）



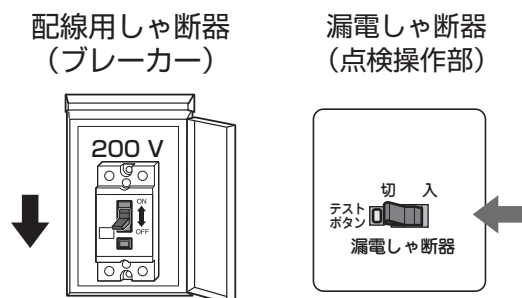
- 7 配線用しゃ断器（ブレーカー）を「切」にする

配線用しゃ断器（ブレーカー）



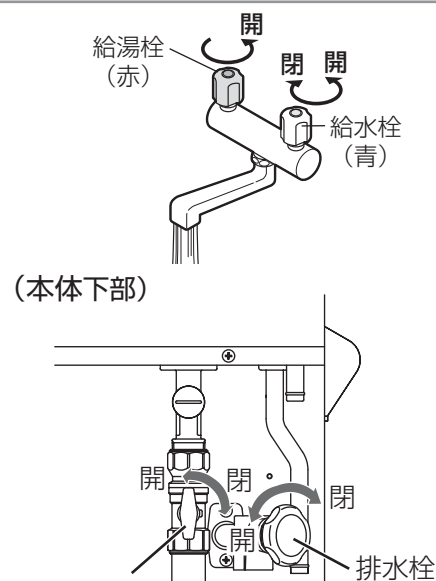
本体の水抜き

1 配線用しゃ断器（ブレーカー）および本体の漏電しゃ断器を「切」にする

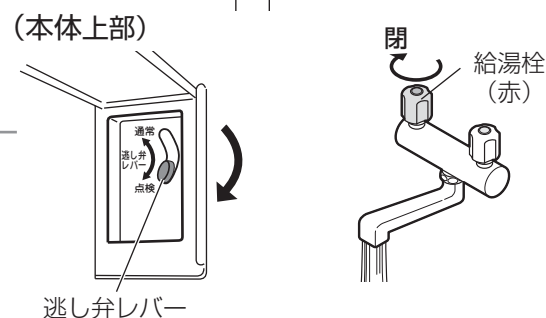


2 タンク内のお湯（水）をすべて排水する

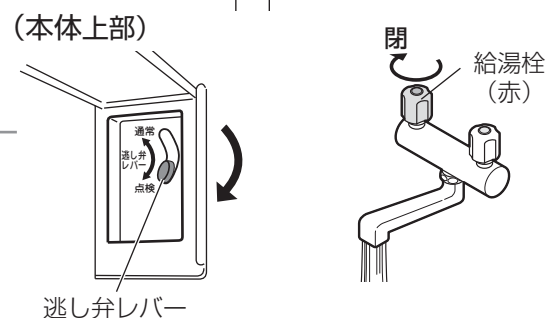
- ①混合水栓の給湯栓（赤）、給水栓（青）を開き、水と混合しながら熱いお湯が出なくなるまで給湯する。（タンク内を水にする）
 - ②給水栓（青）を閉める。
 - ③点検力バーを外し、給水元栓を閉める。
 - ④逃し弁レバーを「点検」位置へ下げる。
 - ⑤排水栓を開き、排水する。（約15分かかります）
- ※混合水栓タイプによって水栓の操作は異なります。



3 排水終了後、混合水栓の給湯栓（赤）、排水栓を閉める



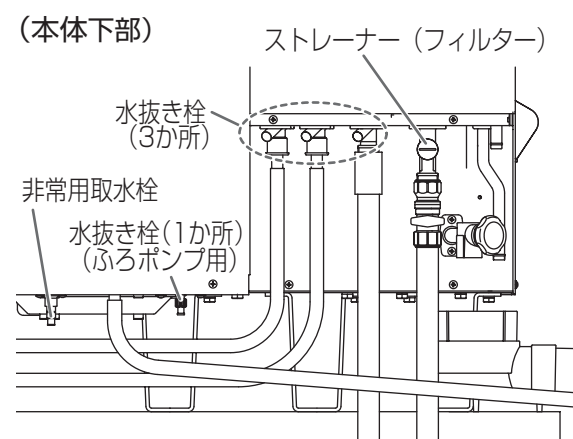
4 給水元栓が閉じていることを確認する



5 水抜き栓（4か所）、非常用取水栓およびストレーナーを左に回してゆるめ、水を抜く

- あついお湯が出ることがありますのでゆっくり回してください。やけどにご注意ください。

6 水抜き栓から水が出なくなったら水抜き栓（4か所）、非常用取水栓およびストレーナーを閉め、点検力バーを取り付ける



7 逃し弁レバーを「通常」の位置にもどし、点検ふたを閉める
